

# 政策・戦略

数値目標は素案において提示

# 政策展開の基本方向

基本  
理念

将来像

基本戦略

人、産業、地域が輝く  
たくましい長崎県づくり

交流でにぎわう  
長崎県

交流を生み出し活力を取り込む

交流を支える地域を創出する

地域みんなが  
支えあう長崎県

互いに支えあい見守る社会をつくる

生きがいを持って活躍できる社会をつくる

次代を担う『人財』  
豊かな長崎県

次代を担う子どもを育む

産業を支える人材を育て、活かす

力強い産業を  
創造する長崎県

たくましい経済と良質な雇用を創出する

元気で豊かな農林水産業を育てる

安心快適な  
暮らし広がる長崎県

快適で安全・安心な暮らしをつくる

にぎわいと交流を支える社会基盤を整備する

基本理念と将来像の実現に向けて、10の基本戦略を掲げそれを構成する43の施策と政策横断的なプロジェクトに取り組むこととしています。

## 施策

	2つの世界遺産等を活用した観光地づくりと誘客拡大
	本県ならではのソフトパワーの活用・発信
	海外活力の取り込み
	新幹線開業効果の最大化
	時機を捉えた特色あるまちづくりの推進
	文化・スポーツによる地域活性化
	移住施策の強化
	必要なときに必要な医療・介護・福祉サービスが受けられる体制の整備
	誰もが安心して暮らし、社会参加のできる地域づくり
	きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援
	いつまでも健康で活躍できる社会の実現
	女性の活躍推進
	多様な主体が支えあう地域づくりの推進
	結婚・妊娠・出産・子育ての一貫した切れ目ない支援
	安心して子育てできる環境づくり
	学力の向上と個性を活かした教育の推進
	我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成
	グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり
	子どもたちが安心して学べる教育環境の整備
	「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」風土づくり
	キャリア教育の推進と企業人材の育成
	地域に密着した産業の担い手の確保・育成
	医療・介護・福祉人材の育成・確保
	魅力ある大学づくりと大学との連携強化
	新産業の創出・育成
	地域経済を支える産業の強化
	戦略的、効果的な企業誘致の推進
	就業支援と良質な職場環境づくり
	水産業の収益性向上に向けた取組の強化
	活力にあふれる浜・地域づくりと漁場・漁村の整備
	農林業の収益性の向上に向けた生産・販売・流通対策の強化
	地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり
	しまや過疎地域等の活性化と持続可能な社会の基盤づくり
	犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進
	食品の安全・安心の確保と安全・安心な消費生活の実現
	災害に強く、命を守る県土強靱化の推進
	良好で快適な環境づくりの推進
	低炭素・循環型社会づくりの推進
	人と自然が共生するまちづくり
	九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立
	離島・半島等のくらしと交流を支える地域公共交通の確保
	インフラの長寿命化の推進
	ながさきICT戦略(仮称)の推進

# 政策横断プロジェクト(仮称)

## 戦略 1 交流を生み出し活力を取り込む

### 1. 将来像

世界遺産登録による経済波及効果が県内に浸透している。  
九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の開業により人と物の流れが活発化している。  
地域の魅力の磨き上げと戦略的な発信により長崎県ならではの歴史・文化等の『魅力×影響力』（ソフトパワー）が世界に認知され、それらを体感しようとする人の流れが拡大している。  
アジアをはじめとする海外活力が取り込まれ、県内経済活動が活発化している。  
核兵器廃絶と世界恒久平和が実現している。

### 2. 背景

#### 現状と時代の潮流

2つの世界遺産候補について、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書（正式版）が提出  
九州新幹線西九州ルートが平成34年までに開業予定  
観光の振興、地域資源の活用についての地域間競争が激化  
東アジア諸国を始めとした新興国の著しい経済成長とLCCの普及等により人と物の流れが拡大  
円安基調で前総合計画取組前の平成22年末と比べ円の価値は3割以上目減りしており、観光客誘致や県産品輸出に大きな追い風  
国内では人口減少、少子化・高齢化による地域活力の低下が見込まれる一方、地方創生による観光の振興、地域資源の活用についての地域間競争が激化

#### 今後の課題

2つの世界遺産候補の万全な保護と登録実現による地域の活性化及び受入体制強化  
九州新幹線西九州ルートの開業効果を最大化するための取組の推進  
長崎県の歴史文化・観光・県産品の磨き上げ・発信  
アジア・国際戦略の推進強化による厚みのある経済的実利の創出・拡大の取組  
長崎空港の活性化  
長崎から核兵器廃絶と世界恒久平和に向けた積極的な発信

#### 前計画の主な成果

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」及び「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の国からユネスコへの世界遺産推薦書提出  
観光客数の増加（H25年 観光客延べ数 H14以降最多）  
クルーズ客船の入港増加（H26年 過去最高の92回入港）  
県産品の輸出拡大（海外における取引品目の増加 H22年度 14アイテム H25年度 45アイテム）

### 3. 取組の方向性

#### 施策1 2つの世界遺産等を活用した観光地づくりと誘客拡大

##### 取組の概要

- ・ 2つの世界遺産(候補)の価値を守り育てるとともに各地域の観光資源を活かした魅力的な観光地づくりを推進し、魅力ある観光資源のストーリー性を重視した効果的な情報発信を行うことにより、国内外からの誘客を図るとともに、県内での滞在、周遊を促進します。

- 価値を正確に伝え守る仕組みづくりの推進
- 価値を活かした本県の新たな魅力づくり
- 各地域における観光客の受入体制整備の促進
- ジオツーリズム等を通じた世界ジオパーク等の地域資源の活用

#### 施策2 本県ならではのソフトパワーの活用・発信

##### 取組の概要

- ・ 「日本遺産」認定や「ユネスコ記憶遺産」登録推進など、海外との長い交流の歴史等の本県の特徴ある文化を活かした取組を進め、戦略的な情報発信を行うとともに、被爆県としての核兵器廃絶と世界恒久平和を世界に向けて発信します。

- 世界に通用する長崎県の歴史文化の活用と発信
- 朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録推進
- 誘客と県産品のブランド化の推進
- 核兵器廃絶と世界恒久平和に向けた発信

#### 施策3 海外活力の取り込み

##### 取組の概要

- ・ 海外の需要を取り込むため、これまでに培った歴史や文化、人のつながりを活かしながら、新たな海外拠点づくりや外国人観光客の誘致など、国や地域ごとの特性に応じた戦略的な取組を進めます。

- 経済成長著しいアジア諸国の活力を取り込むための取組
- 長崎県輸出戦略など海外需要を取り込むための取組
- 日中韓トライアングル構想の推進
- LCC等国際航空路線の強化と長崎空港の活性化
- 統合型リゾート(IR)の導入
- 国際交流機能の充実・強化
- 留学生・JET青年(ALT、CIR)との取組

#### 施策4 新幹線開業効果の最大化

##### 取組の概要

- ・ 平成34年に開業が予定されている「九州新幹線西九州ルート」の開業効果が交流人口の拡大など地域活性化の起爆剤となるよう戦略的な取組を実施します。

- アクションプラン等の策定・推進
- 長崎県・関西PR戦略<仮称>の推進
- 広域連携による観光の推進

## 戦略2 交流を支える地域を創出する

### 1. 将来像

新幹線開業に合わせた魅力あるまちづくりにより地域が活性化している。  
地域の誇りとなる魅力ある文化・芸術活動が定着している。  
スポーツによる地域活性化・地域ブランド化が実現している。  
スポーツツーリズムにより交流人口が拡大している。  
移住者が増加している。

### 2. 背景

#### 現状と時代の潮流

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が平成34年までに開業予定  
長崎県立総合運動公園陸上競技場をはじめとした県内競技施設の充実  
ラグビーワールドカップや東京オリンピック等大型スポーツイベントの日本での開催  
東京在住者の4割が地方への移住を検討したいというアンケート結果

#### 今後の課題

九州新幹線西九州ルートの開業効果を最大化するための取組の推進  
地域の特性を活かした文化・芸術による地域の活性化  
国体等の成果を活かしたスポーツの振興  
ラグビーワールドカップや東京オリンピック等大型スポーツイベントへの対応  
本県への移住の促進

#### 前計画の主な成果

「長崎しおかぜ総文祭」の開催、成功  
「長崎がんばらんば国体」での「総合成績1位」獲得

### 3. 取組の方向性

#### 施策1 時機を捉えた特色あるまちづくりの推進

##### 取組の概要

- ・ 九州新幹線西九州ルートの開業を見据えた都市の再生や景観形成を推進するなど地域の個性を活かしたまちづくりに取り組みます。
- 新幹線開業に向けた魅力的な都市空間の創出を推進
- 長崎らしい景観形成・まちなみ環境整備の推進
- 県庁舎跡地整備の推進

#### 施策2 文化・スポーツによる地域活性化

##### 取組の概要

- ・ 地域における文化・芸術活動や文化財の保存活用などに取り組むとともに、県外トップチームの合宿誘致、大型スポーツイベントの誘致、地域密着型クラブチームの活用や、競技スポーツを推進するなどスポーツを通して地域を活性化します。
- 文化・芸術による地域づくり
- 伝統文化の継承と文化財の保存・活用
- 国内外から注目されるスポーツキャンプ等の拠点づくり
- 地域密着型クラブチーム等の活用や「わがまちスポーツ」による地域活性化・交流の推進
- 競技スポーツの推進

#### 施策3 移住施策の強化

##### 取組の概要

- ・ UIターン希望者の受入体制の充実や効果的な情報発信を行い、本県への移住・定着を促進します。
- 長崎県移住戦略の推進
- 人財誘致の促進

# 戦略3 互いに支えあい見守る社会をつくる

## 1. 将来像

県民のみなさんの医療・介護・福祉への不安が解消されている社会となっている。  
きめ細やかな対応が必要な子ども、高齢者や障害者など、誰もが、安心して暮らし、社会参加のできる地域となっている。  
児童生徒が抱える問題の未然防止や早期発見・早期解消が図られ、いじめや不登校等が減少している。  
一人ひとりの子どもに応じた支援が行われ、子どもの生きる力が育まれている。

## 2. 背景

### 現状と時代の潮流

■ 本県は既に高齢化率 26%の超高齢社会となっており、2040年には、県民の4割が65歳以上になるとの予測  
■ 高齢化の進展等による社会保障費の増加、持続可能な社会保障制度への懸念  
■ 地域コミュニティの互助機能の低下や高齢者の孤立化、認知症などが社会問題に  
■ 障害者の自立と社会参加による共生社会実現に向けた環境整備への社会的要請  
■ 生活保護受給者の高止まり、非正規雇用労働者等の生活困窮に至るリスクの高い層の増加  
■ とそれに伴う貧困の連鎖への懸念  
■ ひきこもりや不登校など社会生活を円滑に営む上での困難を抱える若者や、障害、いじめ、虐待などに起因する特別な支援を必要とする子どもの増加

### 今後の課題

■ 高齢化の進展等に伴う医療需要の変化への対応  
■ 感染症への対応  
■ 地域包括ケアシステムの構築  
■ 介護サービス基盤の整備  
■ 認知症患者への対応  
■ 障害者の自立と地域移行  
■ 生活困窮者等の就労の実現と自立  
■ 自殺の未然防止  
■ いじめ、不登校等への対策  
■ 児童虐待の早期発見・早期対応  
■ 障害のある子ども等への支援充実  
■ 貧困に起因する問題を抱える子どもと親への支援  
■ ひとり親家庭等の自立

### 前計画の主な成果

■ 認知症サポーター数（H21年度：15,019人 H26年度：64,942人）  
■ 生活保護受給者の就職等により自立した世帯数の増加  
（H21年度：218世帯 H26年度：1,254世帯）



### 3. 取組の方向性

#### 施策1 必要なときに必要な医療・介護・福祉サービスが受けられる体制の整備

##### 取組の概要

- ・ 団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者となる2025年を見据え、地域における医療・介護の総合的な確保を推進します。また、障害のある人の増加や高齢化に対応した障害福祉サービス等の充実を図ります。

- 医療提供体制の構築
- 地域包括ケアシステムの構築
- 介護サービス基盤整備等の推進
- 認知症施策の推進
- 障害福祉サービス等の提供体制の確保・充実

#### 施策2 誰もが安心して暮らし、社会参加のできる地域づくり

##### 取組の概要

- ・ 高齢者、障害者等をはじめ、きめ細やかな対応が必要な人たちへの人権に配慮した地域での支援や見守り等の充実を図り、社会参加を促します。

- 社会的配慮を必要とする人たちへ必要な支援を行う体制づくり
- 高齢者や障害者等が安心して暮らすための環境整備及び支援の充実
- 人権が尊重される社会づくり
- 高齢者や子育て世代、障害者等に優しいまちづくり

#### 施策3 きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援

##### 取組の概要

- ・ 社会的な問題となっている児童虐待やいじめ等を早期に解決するとともに、不登校、子どもの貧困や障害のある子ども、ひとり親家庭などに対するきめ細かな支援を行います。

- 貧困に起因する問題を抱える子どもと親への支援
- インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進
- いじめや不登校など児童生徒が抱える問題への総合的な対策の推進
- 総合的な児童虐待防止対策の推進
- ニートやひきこもり等、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者等への支援
- 社会的養護体制の充実
- 障害のある子ども等への支援
- ひとり親家庭等の自立支援の推進
- DV被害者への支援及びDV予防について

# 戦略4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる

## 1. 将来像

県民の健康寿命が延び、生涯現役社会となっている。  
運動に慣れ親しみ、正しい生活習慣を身に付けた子どもが育っている。  
スポーツを通じた県民の健康増進が実現している。  
男女が家庭・地域・職場において、個性と能力を十分に発揮できる、誰もが暮らしやすい環境が整えられている。  
県民が生きがいを感じ、積極的に地域社会に参画している。  
県民や行政、NPO法人・ボランティア団体、企業など多様な主体による地域課題解決の取組が広く行われ、ともに支え合う地域となっている。  
誰でもいつでも環境を学ぶ場、活動に取り組む場が提供され、地域で環境が守られ資源として活用されている。

## 2. 背景

### 現状と時代の潮流

定年後も働きたいと考える高齢者、及び、社会活動や経済活動に関わる高齢者が増加  
長崎県立総合運動公園陸上競技場をはじめとした県内競技施設の充実  
高齢化進行に伴う医療・介護需要の増加  
子どもたちの体力低下、運動習慣の二極化や不規則な生活習慣を改善する必要性  
人口減少が進み、生産年齢人口が減少する中、労働力人口を確保するため、女性が能力を  
発揮できる社会づくり  
高齢化や価値観・生活様式の多様化と生涯学習活動への意識の高まり

### 今後の課題

健康寿命の延伸  
高齢者の元気づくり、社会参加  
「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」の成功  
健康長寿対策に対応するスポーツの活用  
子どもたちの運動習慣の二極化の解消と望ましい生活習慣の定着  
性別による固定的な役割分担意識の解消  
出産・子育て・介護等と仕事の両立に向けた取組の推進  
指導的地位に占める女性の割合の増加  
個々のニーズに柔軟に対応できる生涯学習の充実と地域コミュニティの再生  
県民や行政、NPO法人・ボランティア団体、企業など多様な主体並びにそれらの連携、  
協働による地域課題解決に向けた取組の推進  
学校、地域社会、事業者、行政などのあらゆる主体が、環境教育等に取り組むことが必要

### 前計画の主な成果

総合型スポーツクラブ設置数の増加（H21年度：29 H25年度：37）  
肥満傾向の児童生徒の減少傾向（小学校7.31%、中学校8.35%（H21年度）  
小学校6.45%、中学校8.06%（H25年度））  
市町における男女共同参画推進員数の増加（H21年度：17人 H26年度：26人）  
市民活動団体等（NPO法人等）の数の増加（H21年度：2,320団体 H26年度：2,905団体）

### 3. 取組の方向性

#### 施策1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現

##### 取組の概要

- ・ 健康づくりや食育の推進等により、県民の健康寿命の延伸や元気づくりを促進します。また、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しめる環境づくりやスポーツによる健康づくりに取り組むとともに、生涯学習・社会教育の推進にも取り組みます。

- 健康の保持増進と生活習慣病の予防
- 高齢者の社会参加と活躍促進
- 食育の推進
- 子どもたちの体力の向上と学校体育の推進
- 子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた学校・家庭・地域が連携した健康教育の推進
- 生涯スポーツの振興と県民（特に高齢者）の健康増進
- 豊かな人生を支える県民の生涯学習環境の整備
- 地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化

#### 施策2 女性の活躍推進

##### 取組の概要

- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発に取り組むとともに、男女がともに働きやすい環境の整備を図り、女性の人材育成や社会参画拡大等女性の活躍推進に取り組みます。

- あらゆる分野における男女共同参画の推進
- 女性のライフステージに応じた就労支援及び男女がともに働きやすい環境の整備
- 女性の人材育成と活躍促進

#### 施策3 多様な主体が支えあう地域づくりの推進

##### 取組の概要

- ・ 県民や行政、NPO法人・ボランティア団体、企業など多様な主体による連携・協働を推進するとともに、環境教育などに取り組み、住民が自発的に取り組む地域づくりや地域課題の解決に向けた取組を支援します。

- 多様な主体が地域課題の解決を担う社会づくり
- 地域を支える拠点づくり
- 持続可能な社会の構築のための環境保全活動の促進や環境教育等の推進

# 戦略5 次代を担う子どもを育む

## 1. 将来像

子どもが健やかに成長できる社会が実現している。  
保護者の子育て力を高め、子育て家庭にきれ目のない支援がされている。  
地域の子どもをしっかりと育てる地域力が高まっている。  
柔軟な発想と創造性豊かな個性を身につけ、自ら学び、自ら課題を解決しようとする意欲を持った子どもが育っている。  
我が国と郷土の伝統・文化や自然を誇りに思い、国際社会を生き抜く力を持った子どもが育っている。  
豊かなコミュニケーション能力を持ち、グローバル化する社会で活躍する人材が育っている。  
国際社会を生き抜く力を持った子どもが育っている。  
いのちを重んじ、心豊かでたくましく子どもが育っている。  
地域の絆を深める地域教育力・家庭教育力が向上し、子どもの居場所や健やかに育つ環境が整っている。

## 2. 背景

### 現状と時代の潮流

本県の合計特殊出生率は1.66(H26)で全国3位と比較的高い水準だが、県外転出等による人口流出で20~30歳代の人口が減少し、出生数も減少傾向にあり、14歳以下の子どもは、平成26年の18万人が、平成37年には16万人に減少するとの予測  
少子化を招いた要因は、未婚化・晩婚化と夫婦の子ども数の減少  
夫婦に尋ねた理想の子ども数が、実際に持つつもりの子どもの数を上回る現状が続いているとともに、どちらの数も低下を続けている。  
少子化の進行による児童・生徒数の減少  
変化の激しい社会を生きていくための「確かな学力」を育成する必要性の高まり  
県民アンケートでは、「教育の充実」を重要と思う声が多い  
国際化・グローバル化の進展による英語などの外国語能力の必要性の高まり  
学校の安全・安心に対する意識の高まり  
核家族化、地域社会における人間関係の希薄化による家庭や地域の教育力の低下

### 今後の課題

妊娠・出産・育児に対する不安感の解消  
幼児期の教育・保育の質の充実  
家庭・地域・学校等の連携による子どもの育成  
社会を主体的・協働的に生きていくための必要な学力向上  
児童・生徒数の減少による学校の統廃合等への対応  
離島過疎地域における教育水準の維持向上  
学力向上のためのICTを活用した質の高い授業の実現  
グローバル化に対応した英語によるコミュニケーション能力の向上  
学力・意欲のある生徒に対する学習機会の確保

### 前計画の主な成果

放課後児童クラブ数の増加(H21年度:256箇所 H26年度:328箇所)  
ココロねっこ運動等の推進(運動登録団体数(年度)H21:3,804団体 H26:5,040団体、  
運動取組み件数(年度)H21:8,319件 H26:11,252件)  
しま地区などに新たに5つの特別支援学校の分教室を設置  
(4分教室(H21年度) 9分教室(H25年度))による教育の機会均等  
県内就職希望者に対する県内就職者の割合(公立高校)(H21年度:90.3% H25年度:98.0%)

### 3. 取組の方向性

#### 施策1 結婚・妊娠・出産・子育ての一貫した切れ目ない支援

##### 取組の概要

- ・すべての子どもや子育て家庭を地域が支える仕組みを確立し、子どもの健やかな育ちを支援するとともに、家庭や地域の養育力を向上させ、子育て家庭に対する経済的支援など切れ目ない支援を行います。また、妊娠や出産に関する正しい知識の教育の普及を行います。

- 結婚、妊娠、出産の支援
- 子どもや子育て家庭への支援
- 命の大切さや将来のライフプランを考えさせる教育の普及

#### 施策2 安心して子育てできる環境づくり

##### 取組の概要

- ・子どもの健やかな育ちを支えるため、有害環境を浄化するとともに、社会の宝である子どもを、地域全体で育てていきます。

- 幼稚園、保育所の耐震化の推進
- 子どもを取り巻く有害環境対策の推進
- 県民総ぐるみの子育て支援

#### 施策3 学力の向上と個性を活かした教育の推進

##### 取組の概要

- ・一人ひとりの個性や教育ニーズに対応した質の高い教育を推進することにより、子どもたちに知識・技能だけでなく、意欲や思考力・判断力を含めた「確かな学力」を身につけさせます。

- 変化の激しい社会を生き抜く「確かな学力」の育成
- 学校の小規模化やアクティブ・ラーニング等に対応したICT活用の推進
- 本県の人材づくりを担う県立学校改革の推進
- 小中一貫教育など特色ある学校づくりの推進
- 魅力ある私立学校づくりの推進

## 施策4 我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成

### 取組の概要

- ・ 我が国と郷土の歴史や伝統文化について理解を深めるとともに、愛する態度を育み、国際社会で活躍する人材や地域を担う人材を育成します。また、公共の精神を育むとともに、豊かな人間性や社会性を育成し、創造力を豊かにします。

- ふるさとを愛し、我が国と郷土長崎に誇りを持つ子どもの育成
- 規範意識の高い児童生徒を育てる道德教育の推進
- 社会の様々な課題を主体的に判断できる力や政治に参画する態度を育てる教育の推進
- 子どもたちが直接自然と触れ合う体験活動や農山漁村での交流体験の推進
- 表現力や創造力を高める子どもの読書活動の推進
- 創造性や独創性など豊かな人間性を育てる子どもたちの文化芸術活動の推進

## 施策5 グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり

### 取組の概要

- ・ グローバル化が急速に進展する社会において、国際的な視野を持って、自らの考えを伝え、主体的に行動できる人材の育成に取り組みます。

- 子どもたちが直接外国語に親しむ体験活動の推進
- 小・中・高を通じた外国語教育の充実
- 高等学校における特色ある国際理解・外国語教育の推進

## 施策6 子どもたちが安心して学べる教育環境の整備

### 取組の概要

- ・ 生徒指導体制や教育相談体制の一層の整備・充実等を図るとともに、子どもたちが安心して学べる環境の整備など、信頼される学校づくりに取り組みます。

- 子どもの安全確保対策の推進
- 安全で快適な学校施設の整備
- 経済的理由により修学困難な生徒の学ぶ機会を確保する修学支援の充実
- 私立学校の耐震化の推進

## 施策7 「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」風土づくり

### 取組の概要

- ・ 地域で育む子どもの姿を共有し、地域ぐるみの子育てを推進します。

- 学校・家庭・地域の連携による地域の教育力の向上
- コミュニティスクールなど地域と連携・協働した学校づくりの推進
- 家庭教育支援の充実

## 戦略6 産業を支える人材を育て、活かす

### 1. 将来像

県内産業の成長や活性化につながる人材が育成され、確保されている。  
農林水産業・農山漁村が良質な「就業の場」となり、若者や女性が魅力を感じる就業環境が創出されている。  
医療・介護・福祉サービスの提供体制を支える質の高い人材が育成され、確保されている。  
県立大学が地域貢献度・学生満足度ナンバーワン大学になるとともに、県内の大学、企業等及び行政の連携強化により、若者の定住促進と地域活性化が図られている。

### 2. 背景

#### 現状と時代の潮流

生産年齢人口が減少し、労働力人口も減少すると見込まれる中、女性や高齢者を含む全ての世代の活躍が必要  
産業構造等の変化による雇用形態の多様化・流動化  
高齢化による農林業就業者数減少に伴い、生産力や地域の活力が低下  
新規就業者の不足、離職による漁業者数の減少と漁村地域の衰退  
超高齢社会を迎え、医療・介護・福祉サービスの需要が拡大  
少子化に伴う学生及び生徒の減少

#### 今後の課題

時代に即応した職業観・勤労観を養うための実践的なキャリア教育の推進  
新卒者の県内就職の促進  
産業人材のUIJターン促進  
農林業・水産業における新規就業者の更なる確保と地域を牽引する事業者の育成  
医療・介護・福祉サービスの提供体制を支える人材の育成と確保  
知の拠点、交流の拠点、人材育成の拠点として、県内大学が有する知的資源等の積極的な活用

#### 前計画の主な成果

若者などの雇用の促進（高等技術専門校の新規高卒者等修了生の就職率 H15 年度 94.5%  
H26 年度 97.5%）  
新規自営就農者が増加（H22 年度 99 人 H25 年度 175 人）  
水産業における新規就業者の一定確保（H23 年度～H25 年度：毎年度 150 名以上確保）  
県内の病院で採用する初期臨床研修医の増加（H21 年度：70 人 H26 年度：94 人）

### 3. 取組の方向性

#### 施策1 キャリア教育の推進と企業人材の育成

##### 取組の概要

- ・ 子ども達の成長に応じたキャリア教育・職業教育に取り組むとともに、企業ニーズに即した、明日の長崎の産業を支える人材を育成します。
- キャリア教育・職業教育の推進
  - 企業が求める人材の育成
  - 産業人材の県内定着促進

#### 施策2 地域に密着した産業の担い手の確保・育成

##### 取組の概要

- ・ 若者に地域に密着した仕事の魅力を伝えるとともに、幅広い年代からの就業確保や離職防止に取り組み、地域に活力を与える多様な人材を確保・育成します。
- 農林業における新規就業者の増大
  - 農林業における個別経営体の経営力強化
  - 農山村地域を支える多様な担い手の確保・育成
  - 水産経営支援ときめ細かな離職防止
  - 漁村地域の魅力発信による幅広い年代に亘る漁業就業者の呼び込み
  - 建設業における人材の確保・育成に向けた取組

#### 施策3 医療・介護・福祉人材の育成・確保

##### 取組の概要

- ・ 超高齢社会を迎え、誰もが安心して生活できる地域社会を構築するために、医療・介護・福祉サービスの提供体制を支える、質の高い人材の育成・確保に取り組みます。
- 医療人材の育成・確保
  - 介護・福祉人材の育成・確保

#### 施策4 魅力ある大学づくりと大学との連携強化

##### 取組の概要

- ・ 魅力ある「選ばれる大学」となるための県立大学づくりに取り組むとともに、知・交流・人材育成の拠点である県内大学や県内企業等と連携し、県内企業等が求める人材育成と若者の定住促進に取り組みます。
- 魅力ある県立大学づくり
  - 産学官連携による人材育成と若者の地元定着